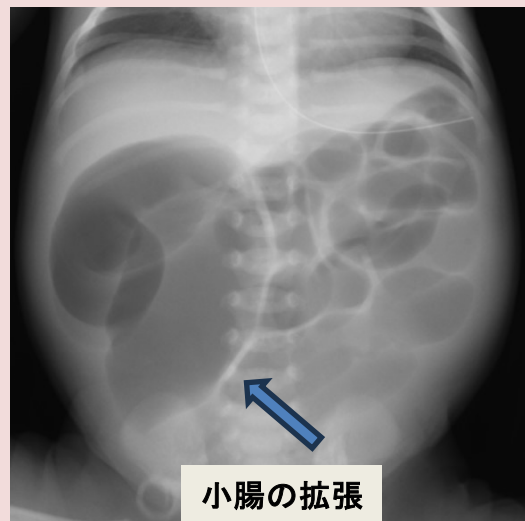


# 小腸閉鎖症

## 小腸閉鎖症とは？

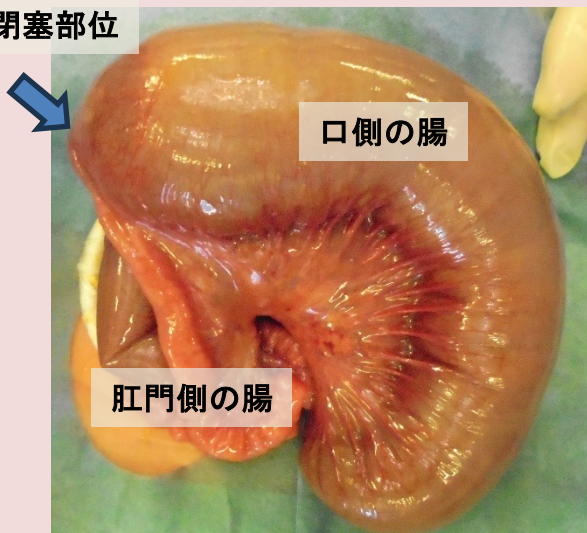
先天的に小腸がつながっていない疾患です。生後、嘔吐・腹部膨満で見つかることもあります。近年では胎児診断されることが多く、出生前から産科、新生児科、小児外科で治療計画を立てる必要があります。



## 検査は？

腹部レントゲンで小腸が大きく拡張します。また大腸の造影検査で、細い大腸が確認できれば可能性が非常に高くなります。しかし、最終的には手術で腸の状態を確認しないと診断が付きません（ヒルシュスプルング病など、そのほかの疾患の可能性が否定できません）。

閉塞部位



## 治療は？

小腸がつながっていないので、ミルクが飲めません。そのため生後数日のうちに、腸をつなぐ手術を行う必要があります。口側の腸と肛門側の腸の大きさに差があるときは、手術後につないだ部分の通過が悪いこともあります。

## 将来的には？

上手く腸が流れるようになれば、大きな問題なく過ごされることがほとんどです。

腸をつなげる手術

